

異素材や加工材を用いた衣服

9番 菅野 絵梨

<制作意図>

現在、市場に出回っている洋服というのは、似かよったデザインが多くなっているように思われる。また、個性の表現とか個性的とか言われているが、一人一人の個性がなくなっているように感じる。それは、似たような形が市場に出回っているからだと思われる。そこで、市場に出ている洋服の素材には見られないタコ糸や和紙等を使い、手作りの洋服を提案する事を試んだ。

<制作過程>

テーマ決定
↓
資料収集
↓
デザイン展開
↓
スタイル画作成
↓
パターン作成
↓
材料購入
↓
制作
↓
完成

<デザインコンセプト>

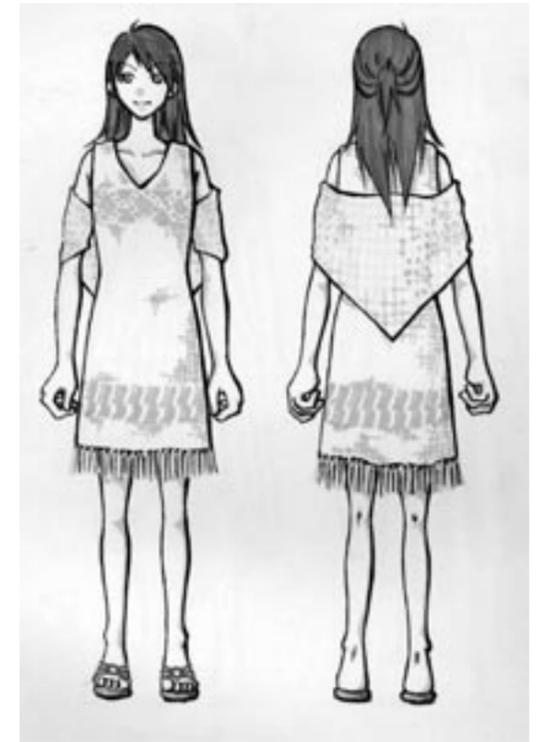
- スタイルA……「編む」
マクラメ編みとレース編みという手法で陰影や編み目の美しさ等の特性を表現。
- スタイルB……「描く」
掛け軸や衣裳の絵画から展開したもの。ファブリックファンという布用の絵の具（染料）を使い描いた。野生児のようなイメージで、雄大な自然を表現。
- スタイルC……「折る」
和紙からデザイン展開したもの。和紙の素朴さや自然さや折りやすい事を生かしながら、しわの面白さやプリーツの動きによって変化する形の面白さ等を表現。

<考察・感想>

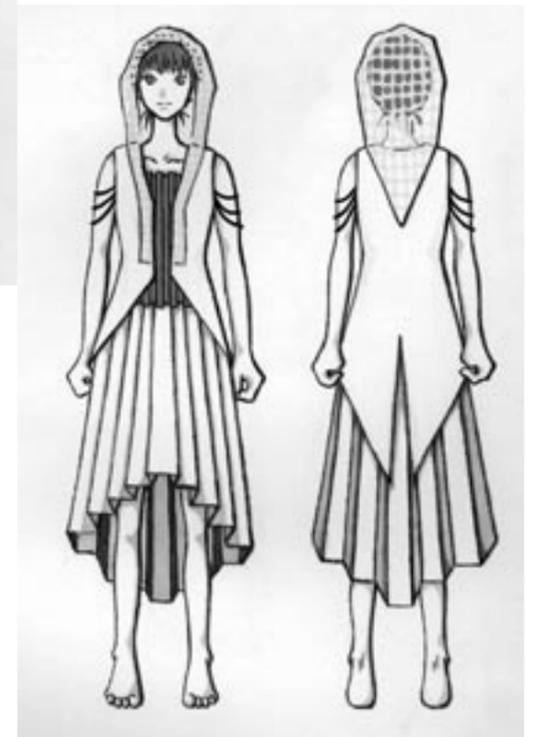
自分の思ったような形にする為に色々と考えさせられた事が多かったが、デザインしたもののイメージに近づく事が出来て、良かったと思う。加工や手法の段階で、細かい作業な為、頭を抱える事がしばしばあったが、コツコツやる事の大切さや辛抱強さを学んだような気がする。洋服の作り方を学んだ事も、卒業研究としてこの3体を作り上げられた事も、これからの自分自身の力として生かし、将来の自分につながっていければいいと思う。



<スタイルB>



<スタイルA>



<スタイルC>